

妻に言えなかった131の想い、妻へのセカンドプロポーズブーケ作りなど、
結婚して長く一緒に生活している妻への、夫からの心のこもったプレゼントに！
愛妻婚 挙式プラン

愛妻の日 1月31日(月)から3月31日(木)までの期間限定

「愛妻の日をきっかけに、言葉に出して言えない愛と感謝の気持ちを花とともに伝えよう」と呼びかける「愛妻の日 男の帰宅花作戦」を展開する株式会社日比谷花壇(本社:東京都港区、代表取締役社長:宮島浩彰)は、愛妻の日 1(アイ)月 31(サイ)日*を記念し、結婚して長く一緒に生活しているが、結婚式を挙げていない夫婦を対象に、夫婦だけであるいは家族だけで挙式を執り行い、夫婦の絆を確かめ、愛を誓い合うウェディングプラン「愛妻婚 挙式プラン」(平日限定、131,000円[税別])を日本愛妻家協会と共同で企画し、1月31日(月)から3月31日(木)までの期間限定で販売します。

<背景>

近年、再婚、晩婚、デキ婚などの様々な夫婦を取り巻く事情から、結婚式を挙げずに、入籍後結婚生活をスタートさせるカップルも多いことから、夫婦の記念として、夫婦の絆を確かめ、あらためて愛を誓い合う挙式プランを用意しました。

<内容> * 挙式の流れ等のプラン概要は別紙参照

愛妻婚 挙式プランでは、挙式までの間に、夫が次の2つプランを心をこめて行うことによって、式を挙げずに入籍してからこれまでの何年かの、妻との夫婦生活を振り返ることから始まります。

1. 妻に言えなかった131の想い

夫から妻へ、これまで言えなかった愛の言葉、感謝、謝罪、妻になおしてほしいさやかなこと、妻の好きな癖、初デートからこれまでの記憶等、これまで言えなかった妻への131個の想いを手書きで、一つ一つ当社特製の「愛する妻に贈る131の想い」ブックにしたためていただきます。これは、挙式前に、当社が装丁し、式の中で夫から妻に手渡していただきます。

2. 妻へのセカンドプロポーズブーケの手作り

挙式では、夫が妻にあらためてプロポーズする“セカンドプロポーズ”のシーンを演出します。夫が妻にブーケを差し出し、そのプロポーズを受けるサインとして妻が夫にブートニアをつけるこの儀式は、ブーケ・ブートニア誕生の謂れに由来しています。かつてプロポーズをするためにある一人の男性が、道端に咲いている野の花を摘み、束にして女性に差し出してプロポーズし、女性はプロポーズを受け入れますという言葉の代わりに、受け取った花束の中から一輪を抜き取り、男性の襟にさしてあげたと言われています。

愛妻婚 挙式プランでは、この謂れにならって、挙式前に夫自ら、フラワーコーディネーターのサポートのもと、妻のために心を込めて、挙式当日に使用するブーケを手作りしていただきます。

またヨーロッパやアメリカでは、12本のバラの花束を、恋人に贈ると幸せになれると言われ、12本のバラは、それぞれ「感謝・誠実・幸福・信頼・希望・愛情・情熱・真実・尊敬・栄光・努力・永遠」を象徴し、“これら全てをあなたに誓います”という意味があります。そのため、挙式で使用するブーケでも“永遠の愛”を花言葉にもつチューリップ12本を使って12のメッセージを誓うブーケを手作りして頂きます。

挙式では、夫が手作りしたブーケを自ら手に持ち入場し、妻にブーケを差し出し、“セカンドプロポーズ”する儀式を行った後、夫から妻へ愛妻家宣言と、愛妻家宣誓書へのサインを行い、妻はこれを受けてアンサーします。また記念品の交換のほか、誓いの口付けとハグを行います。

愛妻婚 挙式プランの価格は、愛妻の日(1月31日)の「アイサイ」にかけて、131,000円(税別)。

挙式場所は、ガラス張りの祭壇から海が一面に広がる湘南地区唯一の独立型チャペル「カンティーナ」(神奈川県逗子市新宿1-3-15)です。

* 愛妻の日とは、“妻というもっとも身近な存在を大切にすると世界はもう少し豊かで平和になるかもしれない”として、日本独自の文化かもしれない愛妻家というライフスタイルを世界に広めていこうと、日本愛妻家協会が提唱している文化活動です。この象徴の日は、1月31日の1をアルファベットの「アイ」、31を「サイ」とかけた「愛妻の日」です。

日本愛妻家協会×日比谷花壇 共同プロデュース 愛妻婚 挙式プラン 概要

◆期間:2011年1月31日(月)～2011年3月31日(木)の平日

◆料金:131,000円(税別)

◆内容

挙式料(チャペル会場使用料、愛妻家宣誓書、チャペル装花[献花造花レンタル])

衣装(ドレス、メンズコスチューム各1点)、ブーケ・ブートニア

*“永遠の愛”の花言葉をもつチューリップでデザインするブーケ・ブートニアとなります。

* 挙式のためのプランとなります。披露宴希望の場合は、ご相談ください。チャペル横のイタリアンレストラン「カンティーナ」(着席～90名、立食～120名)での披露宴も可能です。

* 特典として、「愛する妻に贈る131の想い」ブック、愛妻婚挙式中のスナップ写真、日比谷花壇特製 愛妻家宣言証、日本愛妻家協会×日比谷花壇 特製ハグマットをプレゼントします。

◆挙式場所

「カンティーナ」

神奈川県逗子市新宿 1-3-15

(JR 逗子駅から徒歩 10 分 国道 134 号線沿「逗子会館」隣)

* ガラス張りの祭壇から海が一面に広がる湘南地区唯一の独立型チャペル



◆挙式の流れ

挙式前: 「妻に言えなかった131の想い」を心を込めて特製ブックにしたためる。

挙式当日: フラワーコーディネーターのサポートのもと、妻のために、“永遠の愛”の花言葉をもつチューリップ12本を使ってブーケを手作りする。

挙式当日:

※12:00スタート
の場合

12:00	入場	夫一人で入場 *ブーケ(チューリップ)を持って 妻入場 (お子様・お父様・その他)のエスコート
	セカンドプロポーズ	手作りした12本のチューリップを使ったブーケを夫から妻に渡し、 妻が夫にチューリップの花のブートニアを付けてあげる
	開式の辞	司会者より *既に夫婦生活を始めているが改めてセレモニーを行う趣旨説明
	愛妻家宣言	夫中心で
	愛妻家宣誓書サイン	夫がサインし 妻に渡す
	アンサー	夫の宣言と宣誓書を受けて、妻が返答
	記念品交換	指輪・時計などなど 今日の記念になるものを交換 *プレゼンターをお子様へ
	愛する妻に贈る131の想い	挙式までに夫がしたためた「愛する妻に贈る131の想い」ブックを 夫から妻へ贈呈
	キッシング&ハグ	誓いの口づけ&ハグ
	祝辞	司会者より
12:15	退場	家族で退場
12:20	フラワーシャワー	外階段にて or チャペル内にて
12:30	フリーフォトタイム	集合写真
12:45	おひらき	

◆一般からのお問い合わせ先

日比谷花壇 ブライダルデスク フリーダイヤル 0120-398720 (11:00～20:00、火曜定休)

<http://hkw.hibiyakadan.com/>

別紙

◆日比谷花壇のウエディングプロデュース

当社は、これまで長くホテルやゲストハウスでウエディング装花に携わるとともに、2010年からウエディング施設リノベーション事業、ウエディングプロデュース事業を開始。花嫁の希望をできる限り叶えることをポリシーにし、当社のフラワーデザイン・フラワーコーディネート力を存分に活かしたウエディングプロデュースサービスを展開しています。今後は、ウエディング装花事業、ウエディング施設リノベーション事業とともに、ウエディング会場探しから挙式当日までをプロデュースするウエディングプロデュース事業の拡大、提携施設の拡大を図っていきます。

2010年11月から開始した、ガラス張りの祭壇から海が一面に広がる湘南地区唯一の独立型チャペルをもつ「カンテイナー」でのウエディングプロデュースにあたっては、その特性を生かしながら、当社のプランナーがお客様ときめ細やかな打ち合わせを行い、ニーズに合わせてプランニング。上質でありながらもシンプルで手軽、そしてアットホームなウエディングの企画提案、演出を行っています。

当社は、ウエディングプロデュースサービスにおいても、フラワーギフトの企画販売事業、ウエディング装花事業と同様、花を通じて心のゆとり、潤いそして安らぎを与え、感動を演出するとともに、おもてなしの心できめ細かい顧客サービスを提供していきます。

◆日比谷花壇 「愛妻の日 男の帰宅花作戦」 <http://aisai.hibiyakadan.com/>

日本愛妻家協会が提案する愛妻の日アイ1月サイ31日を記念し、当社は、「愛妻の日をきっかけに、言葉に出して言えない愛と感謝の気持ちを花とともに伝えよう」と呼びかける「愛妻の日 男の帰宅花作戦」を2008年から展開し、今年度で4年目となります。

「愛妻の日 男の帰宅花作戦」では、“永遠の愛”を花言葉にもつチューリップを愛妻の日のテーマフラワーとして、“愛妻の日をきっかけに、言葉に出して言えない愛と感謝の気持ちを花とともに伝え、夫婦の絆を深めよう”とより多くの人々に呼びかける各種活動を行っています。今年度は、2010年12月16日(木)から2011年1月31日(月)の間、この取り組みを展開しています。



当社は、花が、夫婦の絆を深める役割を果たすことができると考え、日本愛妻家協会が行う愛妻の日の活動に賛同し、喜びや感動をもたらすことができる“花”が夫婦のコミュニケーションのきっかけとなり、日本の、そして世界の夫婦の絆が深まるよう、この取り組みを通じてサポートしています。

◆日本愛妻家協会について <http://www.aisaika.org/>

日本愛妻家協会は、「吾孀者耶(あづまはや)」「(ああ、わが妻よ、恋しい)と嘆き、亡き妻をいとおしんだ「日本武尊(やまとたけるのみこと)」の故事にちなんで村名が付けられたという、群馬県吾妻郡孀恋村を拠点に活動を行っており、平成20年度地域づくり総務大臣表彰 団体表彰を受賞。

◆株式会社日比谷花壇について <http://www.hibiya.co.jp>

1872年創業、1950年に東京・日比谷公園店の出店後、株式会社日比谷花壇を設立。現在、全国に約180店舗を展開。フラワーディスプレイ、フラワーギフトの企画・制作・販売、装花を伴うイベントのプロデュース等を行い、花と緑溢れるライフスタイルを提案しています。